

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 15 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2010 年 7 月 16 日 (金) 13:30~17:00
2. 場 所 原子力安全基盤機構 本館 9 階 9G 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 文能 (幹事), 楠, 矢野, 下家, 猿渡 (田中代理), 田村, 皆川, 西山, 水崎 (萬年代理), 利沢, 今村, 三山, 成瀬, 渡辺, 新井, 橘高, 松本 (松浦代理) (18 名)
(欠席委員) 大木, 米山 (2 名)
(常時参加者) 田畑, 山口, 中川
(傍聴者) 中野, 池永, 副島
(事務局不在)
4. 配付資料
 - P14SC-15-1 第14回PLM分科会議事録 (案)
 - P14SC-15-2 人事について (案)
 - P14SC-15-3 PLM実施基準2010年追補版の発行
 - P14SC-15-4-1 PLM実施基準2008年版の英訳 (案)
 - P14SC-15-4-2 PLM実施基準2008年版英訳の進行状況
 - P14SC-15-4-3 PLM実施基準2008年版英訳の意見対応 (案)
 - P14SC-15-4-4 PLM実施基準共通訳語表 (案)
 - P14SC-15-5 経年劣化管理からの知見反映 (案)
 - P14SC-15-6-1 経年劣化メカニズムまとめ表詳細版の改定案ドラフトの意見対応 (案)
 - P14SC-15-6-2 経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2010年版正誤表 (案)
 - P14SC-15-6-3 経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2011年追補版での
変更点一覧表 (案)
 - P14SC-15-6-4 経年劣化メカニズムまとめ表詳細版: 2011年追補案
 - P14SC-15-6-5 経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版: 2011年追補案
 - P14SC-15-6-6 PLM実施基準附属書A改定案
 - P14SC-15-参考1 PLM実施基準2010年追補版の標準委員会への本報告資料
 - P14SC-15-参考2 検査の在り方に関する検討会資料

5. 議事

会議に先立ち, 出席委員は代理を含めて 19 名で, 定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-15-1)

文能幹事より、第14回 PLM 分科会議事録(案) (P14SC-15-1) が紹介され、承認された。

(2) 人事 (P14SC-15-2)

①委員の退任

田中委員及び米山委員の退任が報告された。

②新委員の選任

新委員として九州電力(株)の猿渡俊也氏、(独)原子力安全基盤機構の中野眞木郎氏、経済産業省原子力安全・保安院の青山勝信氏が推薦されている旨説明され、審議の結果新委員として選任された。

③常時参加者の登録・解除

東北電力(株)の秋葉氏の常時参加登録解除が報告され、東北電力(株)の田畑氏及び北陸電力(株)山口氏の常時参加登録が承認された。

(3) PLM 実施基準 2008 年版の英訳 (P14SC-15-4-1~P14SC-15-4-4)

文能幹事より、P14SC-15-4-1 及び P14SC-15-4-2 に基づいて、PLM 実施基準 2008 年版の英訳版作成方針(案)とレビュー状況について説明がされた。また、P14SC-15-4-3 及び P14SC-15-4-4 に基づいて、英訳レビューによるコメント対応案が説明され、訳語に関する本日のコメント及び新たなレビューコメントなどを反映したコメント集約表及び訳語表を、近日中に委員に配布してレビューすることになった。方針などに関する主な審議内容を以下に示す。

- ・規格として審議するのか、標準委員長の意向を事務局で再確認する。規格として審議するのであれば、英訳の質をもっと上げる必要がある。
- ・英訳の目的は、国外に規格として販売することではなく、我が国の経年劣化管理を国外に説明して、国際的な議論に資することにある。このような柔軟なものとして作成することを、分科会より提案していく。この件について、事務局と相談する。
- ・米国語と英国語どちらで統一すべきかについて、事務局と相談する。
- ・今後のスケジュール

次回分科会(8/20)まで：一とおりレビューを終了

次々回分科会：英訳修正案を確定

(4) 経年劣化管理からの知見反映 (P14SC-15-5)

矢野委員と三山委員より、P14SC-15-5 に基づいて、経年劣化管理からの知見反映の提案について説明がされた。主なコメントは以下のとおり。

- ・整理表を修正する／しないまでのプロセスは、一度分科会代表者が確認する必要が

ある。

- ・経年劣化メカニズムまとめ表の具体的な追加案のレビューも早々に行う。

(5) 経年劣化メカニズムまとめ表の改定 (P14SC-15-6-1～P14SC-15-6-6)

水崎委員代理より、P14SC-15-6-1～P14SC-15-6-6 に基づいて、作業状況が説明され、近日中に委員へ配布して全体レビューに入ることを確認した。主な審議内容は以下のとおり。

- ・「ステンレス鋳鋼を含む」の表記は、「ステンレス鋼及びステンレス鋳鋼を表している」などと明確にする。
- ・PWRの改定案（正誤表及び経年劣化管理からの知見を反映）も近日中にレビューを実施して、次回分科会で審議することになった。

(6) その他

文能幹事より、P14SC-15-参考-2 に基づいて、検査の在り方に関する検討会資料の原子力学会に関係する部分が紹介された。また、西山委員より、耐震安全性評価の検討の状況が説明され、事業者と NISA の調整などがもう少し進んだあと、規格化に取り掛かる必要があることを確認した。主な審議内容を以下に示す。

- ・事業者で考え方をまとめているところで、秋に NISA へ持っていく。PLM における耐震クラス分け合理化などを合わせて進めたいと考えている。
- ・評価対象を S クラス及び一部の B クラスとできるよう検討しているところであるが、NISA との調整には最低 1 年～数年かかると考えている。附属書 C の充実と合わせて、分科会活動方針とスケジュールを次回分科会で審議することになった。

(7) PLM 実施基準 2010 年追補版の発行 (P14SC-15-3)

文能幹事より、P14SC-15-3 に基づいて、販売形態案が説明され、バインダーなしの差替え版に、旧バインダーに貼るタイトルシールがあれば便利との意見があった。

6. 今後のスケジュール等

次回分科会は、8 月 20 日（金）の 13:30～（場所：(独)原子力安全基盤機構 本館 9 階 9G 会議室）。

以 上